
時の唄 ~ 3 ~

白薔 黒澄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

時の唄（3）

【Nコード】

N8709I

【作者名】

白薔 黒澄

【あらすじ】

時の唄、第三弾
「愚かと言っなら」「問い」「後悔、先に立たずなんていうけれど」
ほか、全6篇集録

（前書き）

今回のものは、全体的に暗いです…

「愚かと言っなら」

弱い自分など消えればいい

弱い自分などいりはいしない

ただ純粹に強さが欲しい

君を守るだけの

力が…欲しい

君はこんな僕など嫌いだろうけど

それでも僕は

力を求める

愚かな者は

最後まで愚か者のまま…

愛する君を守りましょう

「問い」

大切に

愛して

幸せ

今では、届く事などありませんが
それでも祈ってしまう

僕は……

答えなど見つけれない

「後悔、先に立たずなんていうけれど……」

ひとりぼっちで過ごす時間が

こんなにも辛くて苦しいものだと思ったのは

愛してやまない君が

僕の前から消えてしまったから

ねえ、あの時のコトバ

今でも後悔しているよ

だから、早く僕を迎えにきて……

ひとりで眠るのが

こんなにも

怖い

（嫌い…なんて嘘、）
（本当はこんなにも…）

「愛？哀」

好きだから、

大好きだから、

愛しました、

ずっと…ずっと…、

「伝う」

大っ嫌い！

そう言いたいのには言えないのは

まだ あなたが愛しいから……。

「逃がして、逃げられない、この鳥籠」

愛してますよ

いまだに君の声は

この僕をこの場所に
とどめさせる。

君がここに来るはずなんてないのに
いつか、僕の名前を読んで

僕の前に現れてくれるんじゃないかと

思う僕は…

愚かな人形ギニョールなのだろう…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8709i/>

時の唄 ~ 3 ~

2010年10月28日08時30分発行